

## 式 辞

冬の寒さも日ごとに和らぎ、校庭の木々にも新しい春の訪れが感じられるこの佳き日に、公務ご多用の中、PTA会長 栗原泰道様、同窓会長 大和久米登様、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに令和三年度、第74回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもちろん、在校生、教職員一同、大きな喜びであり、心よりお礼申し上げます。

ただいま、卒業証書を授与いたしました、146名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。今日の日を迎え、三国高校での生活の様々な思い出が蘇ってきているのではないかと思います。また、この日まで、お子様の勉学を支え、励ましてこられた保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

学校生活に大きな影響を与えている新型コロナウイルス感染症は、いまだ、終息が見えず一進一退を繰り返しています。しかし、皆さんは様々な変化や制約に動じることなく、日々の学習や部活動、学校行事において、今できることを全力で取り組んでくれました。特に、内容を精選し二日間の日程で行われた学校祭。テーマは「Infinity～あふれる才能の大盤振舞い～」。一日目、三国町体育館を会場としたステージ発表は大きなスクリーンと文化委員会による音響や照明等の演出もすばらしく、見応えのある発表でした。午後の校内祭では、手作りのゲームを展示したアトラクション部門、文化部展示、執行部企画と、制約の多い中での準備であったにもかかわらず内容の濃いものでした。二日目の体育祭。競技はもとより、アイデア満載の衣装を身にまとった応援合戦や各色の特徴を活かしたデコ。全力で競い合い、終われば互いをたたえ合う姿がとても印象的でした。感動をありがとう。

さて、三国高校は昨年度より、文部科学省『地域との協働による高等学校教育改革推進事業』に指定されています。「地域とともにある学校」として、地域活性化のための探究学習を、地域の人々と協働して進めています。グローバル化や急速な情報化、人工知能の進化など、将来の変化が予測困難な時代を迎えています。社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に課題を見つけ、自分事として他者と協働しながら、答えのない課題にも粘り強く向かっていき、よりよい社会と幸せな人生を自ら創り出していく力が必要であると言われています。

一年生の総合的な探究の時間に取り組んだ「空き家活用プロジェクト」。都市計画の専門家や大学院生から、講義やアドバイスを受けながら、空き家の効果的な利用法として「イベント」を企画・立案・発表・実行し、三国にふさわしいまちづくりについて考察しました。町並みや自然などを展示した『和カフェ ひみつの家』、海岸の砂や貝殻などで室内を装飾し、写真を展示した『しおかぜ写真展』、動画を見ながらエクササイズした『みんなで健康になろうよ Let's Dance』、町内観光プランを紹介する『Mikuni tourist and cafe』。地域の商店などからの協力を得て、工夫を凝らし、ふるさとの未来に必要なことや、自分たちでできることは何かを考え活動していました。

二年生では、一年生での学習を発展させ、地域が抱える課題とその解決策について取材な

ど実地調査を行い、課題解決に向けた探究学習を進めました。各グループのアイデアは、「三高地域魅力化プロジェクト発表会」において、坂井市の市議会議員および市役所職員に向けてプレゼンテーションを行い、その後、提言書を作成しました。

三年前の入学式で「自分自身で考え、判断し、それを人にしっかりと伝えて行動する力を身に付けてほしい」とお伝えしました。皆さんは、この三年間、日々の学習で幅広い知識と視点を身につけるとともに、探究学習をとおして「自分らしく」社会に貢献する経験を積み、行動する力をつけてきました。これからは、より広い視野に立ち、ひとりひとりが「自分らしく」ということにもう一度向き合っ、社会を支える人材となるべく行動してください。

そのためのヒントとなる言葉があります。「何が得意かを見つけること。好奇心を持って取り組むことが重要だ」。昨年ノーベル物理学賞を受賞されたアメリカプリンストン大学の真鍋淑郎（しゅくろう）さんの言葉です。真鍋さんは「私は研究を心から楽しんで、ただ好奇心が私を研究に駆り立てた」とも述べています。

自分自身と向き合い「得意なこと」「好きなこと」を見つけ、それを大事にしてください。「これが好き」という気持ちの力を信じて、「得意なこと」「好きなこと」に恐れることなく思いきり、チャレンジしてください。卒業する皆さんが将来、社会の一員として「得意なこと」「好きなこと」に取り組んでいる。そのことが、送り出す私たちの何よりの願いです。

最後になりましたが、保護者の皆様には、様々なご苦勞を乗り越えられ、本日を迎えられることと思います。この三年間、本校の教育活動にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

本日、成長著しいお子様を保護者の皆様と一緒に送り出せますこと、教職員一同誇りに思っております。卒業生の皆さんの洋々たる前途が健やかに、そして幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和四年三月一日

福井県立三国高等学校長 上山 康一郎